

【パブコメ】 3Dプリンター、環境配慮型コンクリート

建設用3Dプリンターを利用した建築物に関する規制の在り方について (建築基準法第20条等)

<取り扱い案>

3Dプリンターの使用範囲	取り扱い案
①3Dプリンターによりモルタルを用いて 構造部材を造形し使用 (特殊モルタル等を 構造部材として使用)	法第20条による 大臣認定要 ○建築物の一部を3Dプリンターで造形する場合の法第20条認定の合理化 (通常のRC造とする部分は確認申請手続きによる) ○材料等の長期的性状が明らかでない場合、モニタリング等の措置を条件に法第20条認定を可能とする。
②3Dプリンターによりモルタルで造形した型枠を 構造部材として使用 (型枠内部に 配筋しコンクリート充填)	<小規模建築物> 仕様基準を創設 <中規模建築物> 構造計算の可能化 (設計方法・施工方法等のマニュアルを整備、個別に材料強度を指定) または、①の 大臣認定 による
③3Dプリンターによりモルタルで造形した型枠を 非構造部材として使用 (型枠内部に 配筋しコンクリート充填)	鉄筋コンクリート造 として取り扱う

<パブリックコメントURL>

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155240715&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155240715&Mode=0)

【パブコメ期間】 3月29日(金)～4月28日(日)

環境配慮型コンクリートを利用した建築物に関する規制の在り方について (建築基準法第20条、第37条等)

<取り扱い案>

RC基準適用の可否等	取り扱い案
①以下の②③に当てはまらない材料	法第20条による 大臣認定要 ○建築物の一部に環境配慮型コンクリートを使用する場合の法第20条認定の合理化 (通常のRC造とする部分は確認申請手続きによる) ○材料等の長期的性状が明らかでない場合、モニタリング等の措置を条件に法第20条認定を可能とする。
②RC造の基準※が 適用できない材料 (従来のコンクリートと類似だが、 特殊な管理・設計が必要)	当面は法第20条の大臣認定取得により、材料・構造部材の性能を確認  実績の蓄積後、品質管理・仕様基準の整備や大臣の強度指定により、構造計算を可能化 ①の 法第20条による大臣認定 も可能
③RC造の基準※が 適用可能な材料 (従来のコンクリートと同じ 管理・設計が可能)	セメントを用いないものもコンクリートに該当することを明確化  法第37条による大臣認定の対象とする

※RC造の基準：コンクリートの材料、強度、養生 / 鉄筋の継手及び定着 / 型わく及び支柱の除去 / 鉄筋のかぶり厚さ / 柱、床版、はり、耐力壁の構造等

<パブリックコメントURL>

<https://public-comment.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155240714&Mode=0](https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155240714&Mode=0)

【パブコメ期間】 3月29日(金)～4月28日(日)

【トピックス】構造性能評価手数料の変更

建築基準法施行規則第11条の2の3第3項の改正により、**令和7年1月1日受付分**から構造方法等の認定に係る申請手数料の額が以下の通り改定になります。

法第二十条第1項第一号の認定に係る評価（時刻歴応答解析）

審査の内容	手数料（円）
床面積の合計が500m ² 以内のもの	1,020,000
床面積の合計が500m ² を超え、3,000m ² 以内のもの	1,150,000
床面積の合計が3,000m ² を超え、10,000m ² 以内のもの	1,600,000
床面積の合計が10,000m ² を超え、50,000m ² 以内のもの	1,690,000
床面積の合計が50,000m ² を超え、100,000m ² 以内のもの	2,260,000
床面積の合計が100,000m ² を超え、200,000m ² 以内のもの	2,590,000
床面積の合計が200,000m ² を超えるもの	3,240,000
特定天井について安全性を有することを確認する場合	1,430,000
軽微な変更	上記手数料の1/3（区分毎）

法第三十七条第二号の認定に係る評価（材料）

審査の内容	手数料（円）
コンクリート、膜材料に係る評価	660,000
鋼材、免震材料、その他の材料に係る評価	2,180,000

令第139条第1項第三号又は第四号ロ（これらの規定を令第140条第2項、令第141条第2項又は令第143条第2項において準用する場合を含む。）に係る評価（高さ60m超えの工作物）

審査の内容	手数料（円）
工作物に係る評価	1,150,000

【解説】あと施工アンカーガイドライン改定のお知らせ

「接着系あと施工アンカー強度指定申請ガイドライン」が2024年3月28日付で改定されました。主な改定内容は以下の通りです。

1.近年の実験結果の追加

「長期スラブの終局載荷試験結果」および「スラブの耐火検証実験結果」を追加

2.冗長性確保に関する内容

設計の余裕度のみではなく、抵抗機構が喪失した場合の対策が必要である旨の追記

3.施工管理に関する内容

従前では「総量管理」としていた接着剤の充填状況確認項を「個別管理」に変更

2については、新設した物（床スラブ等）で持続的に引張りがかかる部位に使用する場合、脱落を回避するため、例えば代替支持部材や装置を設置するなどの対策が必要である旨が記載されています。
3については、個別の接着系あと施工アンカーに使用した接着剤注入量についての全数把握が必要である旨が記載されています。

「接着系あと施工アンカー強度指定申請ガイドライン」（2024年改定版）は（一社）建築性能基準推進協会のHPよりダウンロードできます。

(<https://www.seinokyo.jp/anchor/top/>)

また、強度指定を受けたあと施工アンカーの情報も今後上記HPにてご確認いただけます。

【イベント】2023年度GBRC建築技術セミナー開催のご報告

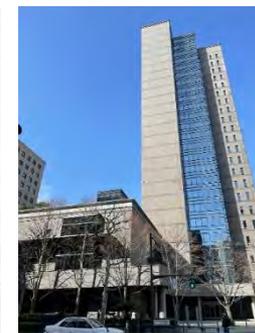
2024年2月28日（水）に大阪会場（ホテルクラシア大阪）、3月18日（月）に東京会場（一橋大学一橋講堂）にて2023年度GBRC建築技術セミナーを開催いたしました。

2023年度は『**未来社会と建築** -大阪・関西万博から-』をテーマに、外部講師の方々からは基調講演および建築系・構造系では万博の開催概要や万博施設建築物の設計についてご講演いただき、また、万博や未来社会に関連して、材料系では新材料や環境に配慮した材料、防災系では群衆流動に関してご講演をいただきました。（建築系と防災系は大阪会場のみ）

大阪会場では、「WTC展望台から見る大阪・関西万博会場見学会」を実施いたしました。当日は天候にも恵まれ、ご参加いただいた方からはご好評をいただきました。



大阪会場
(ホテルクラシア大阪)



東京会場
(一橋大学一橋講堂)

大阪・東京とも多くの方々にお越しいただき盛況の中終わることができました。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

今後セミナー開催の際には本メールサービスにてご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



WTC展望台から見る
大阪・関西万博会場
見学会の様子



大阪会場 講演の様子



東京会場 講演の様子

【お知らせ】性能評価申請書の改定

今年度より、性能評価申請書の書式が一部変更になりましたので、お知らせいたします。**(赤枠：今回変更・追加箇所)** 年 月 日

性能評価申請書



一般財団法人日本建築総合試験所 理事長 様

申請にあたっては、一般財団法人日本建築総合試験所「性能評価業務約款」を遵守します。

また、本申請書および提出図書に記載した事項は、事実と相違ありません。

申請者	ふりがな	
	会社名等	
	代表者役職名	
	代表者氏名	
	所在地	
<input type="checkbox"/> 申請者は、下記連絡担当者が本申請に関する一切の手続きを行うことを同意します。 <input checked="" type="checkbox"/> 本欄にチェックが無い場合は、申請者本人が本申請に関する一切の手続きを行うものとします。		
	会社名等	
	部署・役職名	

略

請求書送付先	会社名		手数料
	部署・役職名		
	氏名		
	住所		
	T E L		業務期日
	E - M a i l		
請求書発行方法	<input type="checkbox"/> 紙による請求書発行を希望		
機関誌「GBRC」への掲載	案件リスト	<input type="checkbox"/> 掲載を承諾します	
	評価レポート	<input type="checkbox"/> 掲載を承諾します	
大臣認定申請	<input type="checkbox"/> GBRCに依頼します		

大臣認定申請を当法人へ依頼する場合、当該項目に☑を記入して下さい。従来は、性能評価手数料と別に、性能評価書発行後、代理申請費用の請求を行っていましたが、☑をご記入いただくことで、当法人からの請求がまとめて1回となります。

https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/high_building/#forms

【編集後記】

花の盛りもいつしか過ぎて、葉桜の季節を迎えました。もうすぐGWがやってきますが、皆様のご予定はいかがでしょう。私のGWの一大イベントとして、里帰り出産で実家に帰っていた妻が娘を連れて戻ってきます。一挙に我が家が賑やかになり、寝不足の日々が続く予感がしておりますが、仕事も家庭も頑張っていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。(勝間)

【認定情報】審査期間

●認定審査期間の実績(2024.01月～03月) (性能評価期間は含みません)

	標準期間※1	実績
新規	2ヶ月	56～66,88※4日 (2ヶ月程度)
新規 (特定天井あり※2)	2.5ヶ月	-
計画変更	1.5ヶ月	-
計画変更 (特定天井あり※2)	2ヶ月	-
軽微な変更	1.0ヶ月	11※3,24,30～45※4日 (1～1.5ヶ月程度)
軽微な変更 (特定天井あり※2)	1.5ヶ月	-

-は該当期間内での実績なしを示す

- ※1 標準期間は認定申請～認定書交付までの標準日数を表しています。
- ※2 特定天井がある場合は「通常の審査期間 + 0.5ヶ月」を目安としてください。
- ※3 変更項目の数が5項目以下であったため、比較的早期に認定されました。
- ※4 2023年度は通常より日数がかかる傾向にありました。

2024年度の委員会開催予定日については、別紙1をご参照ください。



発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
 建築確認評定センター 性能評定課
 担当：甲谷、鳥谷、川上、尻無瀆、勝間
 TEL：080(8303)3867 FAX：06(6966)7680
 E-mail：seinou@gbrc.or.jp

2024年度 建築構造性能評価委員会(建築物) 委員会開催予定表

(一財)日本建築総合試験所
建築確認評定センター 性能評定課

2024年
4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

7/23~26: 地盤工学研究発表会

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

第2金曜日です。

8/27~30: 日本建築学会大会

第4月曜日です。

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12/中旬(2022年は12/15・16): 地震工学会・大会(4年に1回?)

2025年

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2/25~26: 大学入試

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

委員会開催日 ※原則: 第2、4火曜日

その他(学会など)
赤字: 日曜日及び祝日